

防災だより



第1号

北八王子町会

2024年5月20日

自宅を避難場所とする「在宅避難」の考え方

1 避難所生活の問題点

- ・場所取りや避難者同士のトラブル ・トイレなど衛生面の課題
- ・避難所運営職員の過大な業務負担 ・感染症などの突発的なクラスターの発生など

2 在宅避難を可能とする4つ条件（最低限）

新耐震基準・・・震度6強～震度7レベルの揺れでも建物が倒壊しない構造基準

(1981(昭和56)年6月1日施行)

旧耐震基準・・・震度5強レベルの揺れでも建物が倒壊せず、仮に建物が破損したとしても

補修する事で生活が可能となる構造基準(新基準以前の建物)

(1) 室内の安全を確保する

- ・家具類の固定は寝ているときに無防備な寝室から行う
- ・冷蔵庫・テレビ・家具類は固定する

(2) トイレの対策

- ・携帯トイレの準備(家族〇人×回数×〇日分)、大き目のビニール袋
- ・トイレットペーパーは普段から1か月分を余分に備蓄
- ・ウェットティッシュ・生理用品・赤ちゃん用お尻ふき・紙おむつ等

(3) 停電や断水に備える

- ・乾電池のストック ・バッテリー機器の普段からの充電
- ・暑さ・寒さ対策(カイロや熱中症を防ぐための水分)

(4) 食事(家庭備蓄……ローリングストック方式)

- ・加工食品やレトルト・サプリメント類 ・カセットコンロとボンベ
- ・食器を洗えない時のためにアルミホイル、ラップ、ウェットティッシュなど

裏面あり

避難生活場所の選択方法

震災も風水害も避難する判断は基本同じ

判断① 危険を見極める

チェックポイント

- …自宅の家屋に倒壊などの被害があるか? ※
- …隣家の倒壊・火災などで自宅に影響があるか?
- …自宅が水害や土砂災害の被害を受け、生活できないか?

危険がなければ判断②へ

不安に感じたり危険と判断したら避難所へ

判断② 生活できるか確認

チェックポイント

- …日常生活に他人のサポートが必要であるか?

不安がなければ自宅にとまる

自宅での生活がでなければ避難所

避難所も停電・断水した場合の設備には限りがあります

自宅が断水・停電時には、在宅避難者も避難所等にある、断水中でも利用できるマンホールトイレ等の利用や食料受給が可能です。

在宅避難

コンビニ等の流通機能は1週間程度で回復します

避難所 ・ 避難場所

※応急危険度判定が実施された場合には、判定結果にしたがってください